

京城日報

刊夕日四廿

露都より長文電報到る

外務省の密議と露大使の訪問
三月三日露都より長文の電報外務省に到る。石井外相は原次官以下に會同秘密に鳩首談議する。露大使も石井外相を訪問し何事か密議する所ありたりと東京電報。

長沙軍の獨立標榜

長沙に於ける革命軍を獨立標榜せしむる（電）
長沙に於ける革命軍は獨立標榜せしむる。長沙に於ける革命軍は獨立標榜せしむる。長沙に於ける革命軍は獨立標榜せしむる。

支那討伐軍費借款説

支那討伐軍費の急を補ひ且つ財政の困難を救ふ爲め借款の輸入を急ぐと云ふ説あり（電）
支那討伐軍費の急を補ひ且つ財政の困難を救ふ爲め借款の輸入を急ぐと云ふ説あり（電）

露軍尙ほ土軍を追撃中

更に捕虜戰利品多し
露軍は土軍を追撃中。更に捕虜戰利品多し。露軍は土軍を追撃中。更に捕虜戰利品多し。

伊軍トの東方に勝つ

山地及び兩市街を占領す
伊軍は土軍の東方に勝つ。山地及び兩市街を占領す。伊軍は土軍の東方に勝つ。山地及び兩市街を占領す。

英軍飛行隊の活動

蘇土運河の東方に敵の發電所破壊
英軍飛行隊は活動中。蘇土運河の東方に敵の發電所破壊。英軍飛行隊は活動中。蘇土運河の東方に敵の發電所破壊。

商船沈没延期の意志無し

作戦政府は武裝商船沈没に關する勅令の實施を延期するの意志なき事を表明せり（電）
作戦政府は武裝商船沈没に關する勅令の實施を延期するの意志なき事を表明せり（電）

露艦返却説

日露兩國政府間に目下露艦返却の交渉進行中なり
露艦返却説。日露兩國政府間に目下露艦返却の交渉進行中なり。露艦返却説。日露兩國政府間に目下露艦返却の交渉進行中なり。

三派大合同か

政府與三派は又復大合同の交渉中なり
三派大合同か。政府與三派は又復大合同の交渉中なり。三派大合同か。政府與三派は又復大合同の交渉中なり。

與黨結束を圖る

政府與黨は近頃結束の動きあり
與黨結束を圖る。政府與黨は近頃結束の動きあり。與黨結束を圖る。政府與黨は近頃結束の動きあり。

臺灣共進會

四月十日より臺灣共進會の活動あり
臺灣共進會。四月十日より臺灣共進會の活動あり。臺灣共進會。四月十日より臺灣共進會の活動あり。

總督茶葉宴會

三月廿四日午後總督府に茶葉宴會あり
總督茶葉宴會。三月廿四日午後總督府に茶葉宴會あり。總督茶葉宴會。三月廿四日午後總督府に茶葉宴會あり。

若見侍從武官

西野侍從武官の若見侍從武官あり
若見侍從武官。西野侍從武官の若見侍從武官あり。若見侍從武官。西野侍從武官の若見侍從武官あり。

土木主會同（第四）

土木主會同の第四回會議あり
土木主會同（第四）。土木主會同の第四回會議あり。土木主會同（第四）。土木主會同の第四回會議あり。

麥作實收高

前年比一割七厘増
麥作實收高。前年比一割七厘増。麥作實收高。前年比一割七厘増。

朝鮮物産陳列

東京出張所に陳列あり
朝鮮物産陳列。東京出張所に陳列あり。朝鮮物産陳列。東京出張所に陳列あり。

立花總長の招宴

長は二十六日來京の立花總長を招宴
立花總長の招宴。長は二十六日來京の立花總長を招宴。立花總長の招宴。長は二十六日來京の立花總長を招宴。

附屬に本林

附屬に本林あり
附屬に本林。附屬に本林あり。附屬に本林。附屬に本林あり。

山金

山金の活動あり
山金。山金の活動あり。山金。山金の活動あり。

雪北

雪北の活動あり
雪北。雪北の活動あり。雪北。雪北の活動あり。

白馬

白馬の活動あり
白馬。白馬の活動あり。白馬。白馬の活動あり。

京金

京金の活動あり
京金。京金の活動あり。京金。京金の活動あり。

東安

東安の活動あり
東安。東安の活動あり。東安。東安の活動あり。

島間

島間の活動あり
島間。島間の活動あり。島間。島間の活動あり。

軍人後援會

軍人後援會の活動あり
軍人後援會。軍人後援會の活動あり。軍人後援會。軍人後援會の活動あり。

野田東拓副總裁

野田東拓副總裁の活動あり
野田東拓副總裁。野田東拓副總裁の活動あり。野田東拓副總裁。野田東拓副總裁の活動あり。

雪北

雪北の活動あり
雪北。雪北の活動あり。雪北。雪北の活動あり。

白馬

白馬の活動あり
白馬。白馬の活動あり。白馬。白馬の活動あり。

京金

京金の活動あり
京金。京金の活動あり。京金。京金の活動あり。

東安

東安の活動あり
東安。東安の活動あり。東安。東安の活動あり。

島間

島間の活動あり
島間。島間の活動あり。島間。島間の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

村山商行

村山商行の活動あり
村山商行。村山商行の活動あり。村山商行。村山商行の活動あり。

石炭

石炭の活動あり
石炭。石炭の活動あり。石炭。石炭の活動あり。

越後大評定

植木屋金五郎實は

瀧口三郎兵衛

手、手にて三日月の形を模した木片を
 密に縫ひ、大紋附の半纏、腹
 掛、股引を云ふ姿で、少しばかりの
 手道具を風呂敷（包み）に之れを首つ
 玉、鞆ひ付けた、馬子にも衣裳、髪
 形を云つて、水戸家に於て八百石の
 浦口三郎兵衛も、何人が見ても植木
 屋としか見えないうやうに化け、故に
 炎天に驚かざり、饅頭を賣るを
 して出立する道中夜に月に鑑ひて行
 く程に日ならずして、植後の高田關
 田町へと著しました、來て見ると成
 程豊平活の聲は、大したものので六兵
 衛の轡しに模した勢で御坐いますか

手紙を買つて来たと言ふのは、昔
 を思ひ出して此くらゐ嬉しいといはな
 い、ドレ、れが往つて會はうと云
 平治目分出て來て、喜、あ、玉右衛
 門さんの伴金五郎さんと云ふのは御
 幼さん、三、二親力で御坐いますか
 幼少時に御目に掛、落す
 方の顔を覚えて居りますが、判然と
 解りません、此度六兵衛さんの所か
 ら手紙を買つて來たのは、實は當分
 の不慮轉の御陰、一度潰れた根が
 癒つたから、某御陰語りに行くと言
 ふことを、白山御陰下の親方に譲し

▲東京轉戸間の急行列車内で旅を手
 荷物中の衣類反物が類々紛失するのの
 捜査中の東京帝國鐵道管理局、東京、
 靜小荷物監視所、指倉倫珍（一）の犯行を
 ぞと知て十七日逮捕された同人は、監
 の合獄六十餘個を所持し列車中に手
 裏の腕を東京轉戸間一往復に五
 六點宛を監み駐品は自宅の天井裏に
 隠匿して居た

▲螺旋が頭に来たぞ 近頃むやみに
 氣配のいやうな事を云つたり、
 がらせる人に向つて「オイ、氣配
 付けたら、螺旋が頭に来たぞ」と皮肉



は思へ好い仕合せと喜所の方へ廻り
「一十一御願を申します」職人が出
て来て、〇へ入来つしやい。何方
から來さした。三關町の喜平治
さんと云ふ植木屋。親方は此方。
○へ喜平治の宅に此方で御坐いま
すが、親方は何方から來つした。
「私は江戸の白山御殿下の植木屋
六兵衛から手紙を買らつて來ました
ので、先代團子坂の丑右衛門の俵金
五郎と申す者が、幼少い頃に親方に
御目にかつたこと御坐います。」
金五郎と云へば、親方も御存知で御
坐います。「さうかへ少し待つて居
きつしやい」。奥へ来て、「親方、何
事だ。」江戸から若い衆が来て江
戸の白山御殿下の六兵衛さんの所か
ら手紙を買らつて來たんで、先代團
子坂の丑右衛門の俵金五郎と云ふ人
だからです。親方心當りが御生しま
すか？」「さうか、そりや怪しい
な。其ちや今關町町の喜平治と云
ふ親方が盛んに行つて居るから其處
上手紙を開てやる。序に立寄って来
よ」と言れまして、それから親方の
所で二三箇月遊んだ後其から菅谷の不
蘭館へ御詣をして新瀬を見物して歸
りに萩々寺様へ参詣しようと思つ
て出て來た。加之一つは、私も道樂
をして兄弟から出入りを止められ
れたのを、六兵衛さんが氣の毒に思
ひ、此方（手紙）を附けて下さった
次第で御生じますから何分宜しく願
ひます。喜ましいとも言いながら感
じしかねない、最う二月が三月、
でも一年が二年でも成らう事なら
此方へ苦勞を持つてくれれば倍よい
田舎の職人は碌な事は出来ない。御
前の様な江戸の職人が居たり私も安
心だ。それぢや何も出來ませぬが
當分御厄介をお願いみます。

お聞きなさい

るのが流行するそれは野口英定世間
の置土産から出したもので博士の饒
よると海苔の飯糰は螺旋狀を爲し
矢筈々に頭になつてくるさうだ
して頭がつべんに来るま歡喜の頭の
頂に達して世間の事が面白くなり
事も愉快になるさうだ但しさうな
とバツタリ死んで了ふさうだ言ひ
ゆれば愉快の親王は今即ち死の境だ

二月廿六日九星
舊正月廿三日癸巳
本令九月禁南平安

▲丸茶 申しおしの奉有る見舞及合點付行
贈出白 浮浪の事日本書手松島前住氏より
一切の間許を禁ず一二二 故郷より日曜
金井氏の探偵小説並定期新聞等送致され
日曜新聞社に入向く為め現金貸付被せ
女子を迎ふる等の儀四時 不慮を蒙りて
徳を得たる者あり此で吉例にて懇意に
祝賀の日候に於て是迄無事なり計中
同様に相違ひなく御座ります米八斗一
ばんす 熟水の手帳前番には注意し用心得
べし▲七角 普良千手の節有日本書手
植木屋六兵衛さんとは昔友達、丑右

— 112 —

てんかん

酒煙草
になる藥

禁酒論進呈

大澤博士
其姓名士
本館
大阪市豊南通二 森田商店

ごんな酒類のみで害なく心から
達いになつた新勢力は遠くは説明書及
大澤博士の禁酒論を讀んで、
其姓名士の本館に送附せられた。

禁酒九 禁煙液

約百圓の資本に**五百圓**

純益 出たる活動寫眞興行が手帳に
委細説明書にあり新勢力三錢進め

東京芝八幡町振
大澤商會
東京芝八幡町振
大澤商會

特約店 京城南大門通二新井藥房

本劑は我商會が多年の實驗と最會が生理の應用とに依り、強梅毒治癒に最も速効を有する諸種の新藥を主劑とし、就胃の良劑を協めて

柳花

朝鮮總督

定檢御部盛總務發府

藥門專病

合理的に配合調劑
したるを以て花柳
病疾患に服用し安
全に治癒の目的を
達し得る最新良藥
なり

一週間分

梅毒通金壹圓廿
戰時製金貳圓
梅毒通金貳圓
梅毒通金貳圓

藥
 別本舖東京並
 東京ドラッグ商會
 京城永樂町三丁目
 東ドラッグ商會
 滿鮮本部

大坂市西區新町通二丁目
 本家 田知本和三郎謹製
 支店に販賣す 總管大坂二八八番
 陰衰病並に神經衰弱に十
 功あり

滋腎回春丸

三回四分
金貳圓也
振替三二圓
東京銀座
岸田吟季
電話南橋六三三
振替四七七
口庄四七七

三

月報新幼年

東京高等師範學校教授
附屬小學校主事 佐々木吉三郎先生贊助

本號附錄「ツバメ」の折紙は、子供の工夫力を養ひ、手工教育となり、出来上りては體育的遊戲として最も興味あり他に比類なき壯快なる新案飛行玩具なり

幼作毎月金前發行	年々一月送金	雜誌先發同月	多生行六共計	御に辭費金月	求に御一全	め注銀錢十	意寄郵便二	宛を料送券一	良乞割増店六〇
----------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	--------	---------

所發行處：東京東區日本橋區大塚町一丁目三番地電話五八〇二番

米期

定期米賣買之契無代進呈
引金法文介紹を要せず
大阪堂島通商會仲買人入江商店
電話北局五六五〇
秋室三藏

滿洲五龍背溫泉

關安奉沿線五龍背驛を距る二十里開部にて避暑に宜しく遊樂に宜し風光絶佳にして一大樂園なり諸病に特効あり理想的療養場なり宿泊下宿自炊、客棧の設備あり

長男辰男儀
是日道路險峻被成下候段之際路傍に紙上有難禮申上候者二月二十四日父山口諫男親戚友人總代

日本郵船出帆

- 大連、太沽、牛莊行 三月廿一日 正午出帆
- 沙嘴河九丸 三月十三日 正午出帆

藥屋つかい

煉固

御園白粉

御園白粉の薄いは卑しく見えます、御園
固煉白粉をた用ひになるこのびもよく思
ふ様に濃くつきますから、化粧が薄化粧
でもくつきりと鮮な化粧が出来ます。

御園白粉の薄いは卑しく見えます、御園
固煉白粉をた用ひになるこのびもよく思
ふ様に濃くつきますから、化粧が薄化粧
でもくつきりと鮮な化粧が出来ます。

金四十銭 金七十銭

元寶發

店商屋見丸

本館

園蝶胡東伊

(55)

大阪商船社出帆

船の時刻表は各埠頭事務所にて頒布せしめ
船の時刻表は各埠頭事務所にて頒布せしめ

○神戶 大阪行 二月廿六日 午後五時

○宮島 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

○天保丸 大阪行 二月廿六日 午後五時

金融機關

らに空名を稱するが如きは甚だ無益の業たるのみならず、他人の嫉妬猜忌を招き若くは、世間の物議を醸して已まむこと支那に於ける利權に關する事柄に就て、最も其の然るを見る可きなり、此邊の事は其本土の外交家、政治家共に、十分の経験と有する所なる可く、吾人は其の必ずや相當の注意を致したるを信せむとす。

○鐵道院、朝鮮鐵道局、並に滿鐵會社の協定にて先年低價賣却せられたる三線連給運賃は將に其期間を移らんとす。而して更に此連給運賃額が將來に繼續せらるべきや、但し撤廢せらるべきや、吾人は滿鐵の意圖は別とし、他の當局者は恐らく低減の邊なきを望むべし。

○滿鮮の經濟的統一は吾人平生の願度として經濟上の緊需あるか、是は支滿兩の經濟的發展の上に果して善を與ふるか、如何なるものに思ふ其の存續が大局に不利益なる事を認むるに於ては、吾人何ぞ其義に之れが存貨を貯蓄せざる。是邊運賃を俟たずして吾人は之が撤廢をよに容ならざる也。

今日世人の共に知るごとく、新領土若くは外國に對し、斷く可き金融機關に、二種の要務あり、其の一は貨幣對引及び預金業の取扱にて、即ち是れ普通銀行の業務なり、其二は土地又は工業財産に對して投資し、資本金又は起債資金を以て其財源と爲すものにして、即ち是れ折衝會社の業務なり、今や我正金銀行は、支那に於ける普通銀行の業務と就て重要なものなるを以て、其業務の範圍を擴張するに當り、運賃、貨物の持續を希望するものご、運賃運賃の低減は安東縣に於ける國境關稅三分一減と相俟つて、棉絲、布類の滿洲への輸送通路を朝鮮經由の線に變更せしめ、爲めに大連港をし、徒に寂寞を感せしめたるは明かなる事實也、とされば之れが實施以來大論たり。朝鮮には朝鮮の經營あり、滿洲には滿洲の政策あり、他の密を言さずと謂ふが如き、狹量なる方角の偏見の爲めに、帝國の大陸經濟に蒙る及ぼすが如きは、甚だ不可し、吾人之を排す。希くは大局上打算して滿鮮の利害を一致せしめするは、其家を訪ふの客絶えず、は殆ど其何人たるを問はずして之之を

位に立ち、其行績亦甚に見るべきものあり、臺灣銀行の南支那に於ける勢力、亦歲月と共に増進するの實あり、其他二三普通銀行、亦これと相追隨するものなきにあらず、獨り其振盪、自給的業務に至りては、今殆ど其設備を缺く、甚れ我政府當局者の目計より臺灣銀行を以て、之を補はむとするものなるべきか。

併しながら、指圖的金銀は、銀行とし

山縣生

▲今は日進月歩の世の中に於て、如何なる人も油斷なく向上進歩に志せざるに於ては失敗者となり、落後者となりを免れず。嘗ては世に時勢多き名聲共に高かりし人にして、今は猶ほ生き居れるや死せるや分明ならざる人少なかち。これ等の人人がかく穢れる環境に陥りしもの、種々格別に新智識を得るに由なし。これに於て修養を積まんが爲めには、

接し、之を語り、傍等より相えたる知識を得て、直に是を我物となす。因る多しと思はる。換言すれば伯仲客に接する事によりて、經えや終えし、依りて時世に遅れざる也。

▲多くの人は世の如く多數の客に接する機會を有せず、客來ることあまり多くは平凡の者に止り、これより格別に新智識を得るに由なし。これに於て修養を積まんが爲めには、

ては其本然の業にあらず、且其任務の統治政策と相伴ひ、及び公益を主とするの必要ありと、爾國政府これが權限を爲さざる可らざるのみならず、其行動するところの地方政體又は中央政府の制令の下に立たざるべからず、**英中農業金融**を事とするものは、時に自ら地主となり、**農業**離にして猶ほ克く今日の地位を保持しに因らずんばあらす。

▲これに反して、**客**も世の進歩に遅るゝに於ては、學者専門家の講演を聴くを讀み、若くは講演を聞かざるを得る機會は多けれど、**我京城に於ては**斯機會を得ることも乏なり。に於ては、修養は最も多く之を聴に求めざるべからず。

▲**讀書**に折に興れて知る愈々なる

大阪財界通信

▲大阪支鮮貿易 本邦中
 大阪、神戶、朝鮮、韓及び支那移出輸入貿易
 移出品價六十五萬五千三百十七
 輸入品價三十六萬六千六百八十七
 して差引出超二十八萬八千六百
 圓を示し之にて一月以降の入超額
 百九十三萬四千五百四十六圓に
 たる期定なり

▲大阪外國貿易 本邦中

大阪港貿易は輸出品價四百八十八萬九千三百圓輸入品價八百八十八萬七十三圓にて差引出超二百九十八千四百五十七圓を示し之にて以降の出超累計七百六十五萬四十七圓に達せる勘定也

△**亞鉛**トラスト　内地に亜鉛を製造するものは大隈、亞鉛、亞鉛鍍金等にて其製錬は到底資本要者の希望を允す能はず時價大騰し其間如銀賣上に種々の事ある由にて上野、亞鉛等廠先づ東海同門組織して府省の協力を其他同業資成上必要に迫れる條件を決議すべく目下省庁中なり

▲**滿俺鐵山發見** 京都府
 郡山家村字木柳原榮三郎の今
 見にかゝる同郡同村字七五三番
 地は其品最良と有望の或る鑛
 の意見にて目下大阪鐵務所へ申
 其許可を急ぎつゝあるよし今日
 豫定にては二萬坪に渡る大區域に

が京城に於て知る所の人の中に餘りに多くの顯貴家を見出す。▲人は弱き者なり。黨事は知らざら、之を爲すに多少の苦勞伴はれ、進んで之を行ふの勇氣起らず。れども相約を設けて、衆と共に時は、多少其勇に強いる人々を行ふを得。志が同する人々を設立して、協同事に當るは味あるが故也。

▲總督府の職員諸君は今回所望なるものを創立し、毎週一回、して講演を聴き、以て罪究修養する所あらんといふ、修養の機しき京城に於ては、殊に必要なる事と言ふべく、各地方に於ても倣ひて同様の會の設立さるゝことを望まじう。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

及「フ」に字、題した書物出版。横江
に在る。今五ノ上、題した書物出版。
不世傳呼するは、俗なものである。此の如
時全部大群を以て送り、其用は、
松脂
浸した木材
大篝火
燃えつたのである。此時時代に於て、筆跡、
揮毫がセテ正統派米屋の店には、此
の「フ」に字、題した書物出版。

▲東京の如く大部位に於ては學問、
技術、人格等の點に於て、上に上

和歌山、
杉本、
信手拈來情思深切、
○丙辰新年
朝日父子或君若千古輪百有紳旭
日麗々將上遊街萬民王春
評曰自然發舒能化人脾
○昔蘇養三清閣晒得石成
用調製 茗琪 金盞
老松何古高樹對梅殿枝補以竹輪々
同是蘇養委工夫撫胸路詩畫欲香離

あるが故に、人は常にこれに刺激され、勵まされて向上進歩の志を失はざれど、京城其他地方の小社會に於ては、人は無爲郡の編氓となり易く、自己の學識の足らざるを心付きなからず、周圍に蠢動する惡小の機れむべきを見て、いつしか天鈞となり得意となり進歩してに停るの患あり、久しく殖民地に生活したる人の、母國に歸つて後志を得ざる者の

○草庵金堂書畫家三清圖見
晴大其題詩却望云爾

成田 魯石

の多きは、かる状態の下に修養を怠りたるが爲めなりとんばはあらず。
▲京城には數に總督府内の讀書會あり、民間には經濟會なるが、近來いづれも消滅したるが如し。此際研究會の起りしは誠に慶賀すべく、其永續して會員諸君が相共に久しく其利能を享けらるゝを祈る。

漢堂一清奇 松栢老松栢 寒窗蕭蕭而獨
梅花生寒姿 對壺合然琴 焚鼎飲伴陳
日性玩物癖 又添吟補癖 想憶思時
醉翁相繼起 神氣欲放狂 縱筆筆所之
深故故人知 永懷松蘭思 傲然萬古誰
會無難哉

際日 羅盤井內、如雲容水壺、不可
根以方圓結是妙砂

大勢なり不本意ながら
御承座を願ひます

値上

チャムピオンインキ
ライトインキ
アカデミーインキ



第 七 卷
 東 大 戰 廬 真 實 報
 歐 洲 戰 争
 實 記 增 刊
 二 月 十 五 日 發 行
 二 角 廿 五 錢
 本 町 博 文 館

京城、仁川兩市に限れる

東亞

賣出品

◆朝日 ◆ダリヤ ◆水府 ◆福壽草 ◆白梅 ◆薩摩 ◆さつき ◆あやめ

各一ボールに付景品券壹枚

■賣出期間 二月廿五日より三月十五日まで

■景品種目

白米四斗入一表 注時計

亞煙草飛
 ▲壹等 二枚續き毛布 二百五十本
 ▲貳等 朝日一ボール、玩 具 二百二十五本
 ▲參等 牡丹臺一ボール組合文具 二百五十本
 ▲四等 八千代一包、タ オ ル 千二百五十本
 ▲五等 ハ ネ ビ 一 煙數 萬本
 △一本も空籤なし
 抽籤期日 三月廿日京城商業會議所
 景品引換 三月廿三日より四月十日まで

躰記念

意注御

○景品引換所

京城黃金町 煙草組合
仁川新町 煙草組合

今回は實用品たる刻を^{くちか}加へ然かも賣出^{ばいしゅ}數極
少數に付賣切れざる内に御註文被^{おろ}成下度尙
所在卸賣店に景品券なき節は下記兩賣捌店
へ直接御用命願上候

東亞煙草株式會社 元賣捌所
京城官煙組合
仁川官煙組合
大正五年二月

▲東拓案問答

本部長一同連日の賛成ありおぼのづか
次第に報告進行可決
次で三輪市本部長政友会議事の進行
に賛成を求め委員會の議事進行
に關し希望するところあり
兵役稅案、病弱者遺族軍人家族救護
法案

帝政實行延期宣布辭を黎民

其の産額に努むる折柄又最近に於て九州岸田に有望なるタングスマン鋼の發見あり一箇月約二十噸の産額を見る盛況を呈せるあり之れが爲道より總督府に提出し許可の指令を

長沙革命の獨立標榜の

が起つて居る、あれはどうだらう
と言ひ出した人があつた、恰度鐵
道局の和田參事も居つて種々こ意
見を述べて居た、その一端を茲に
のである、少々怪しき議論であるが、
要之從來に於て大連本位で總て計畫
された事が、偶々道路の變更によりて
繁榮が奉天に移り大連は間接的地位

京政府は駐日陸公使に打電し東京留學生の帝政反對

歐洲との間の交通路に於て何れの線が最も適當なるものであるか、是れは各方面の關係によつて定めらるべきであるが、要するに速くて廉くてのならば、運賃が安い爲め貨物が朝鮮を通じて大連を通らねど困るといふ理由のやうだが、併し運賃が安くて損をするのならば、損をしてまで當線に送ら

佛軍其一部を奪

る歐亞交通路は最も有の資格に達
つて居ることは今更なる言ふ迄もな
い。然るに此の交通路の
旅客通路としては既に此の交通路の
價值は熟知せられ別に何等の問題も
ない。然るに此の交通路の
旅客通路としては既に此の交通路の
價值は熟知せられ別に何等の問題も
ない。然るに此の交通路の
旅客通路としては既に此の交通路の
價值は熟知せられ別に何等の問題も
ない。

◎海軍論功行賞

て居る。吾邦日本内地より朝鮮を経由して滿洲方面に輸送せらるる貨物、是は運貨三割引の特典に與かつて居る故に依ては朝鮮鐵道線及び滿鐵大連集中主義に復らんが爲めに、三

勳三等功四級
同 上
國對富士松
●●●●●
小林恵吉郎
叙功三級授金鵄勳章
(各通)
海軍少佐左六立

あるは當然の事である、其理は簡
單である、即ち迅速、低廉、安全と
いふ三條件が備はつて居るからでは
ないか、

可成り反對に、尤も其の利
害を考へて明かではないか、一
小局部の利害の爲めに大局を犠牲に
供することは考へ物だらう、此の間

同	上	本田親良	二十四日勅令第十四號
上	秋澤芳馬	漫關東州權太居住者の	

に於ける通關手續の困難其他の故障があつたけれども、間もなく是等の不便は除かれて今日では最も安全確たる路路たるは世人の均しく之を理に引下げて因業に貨物を引付けて

業界に對し、尠なからざる打撃

●**學校組合豫算** 大正五年度
京城學校組合豫算は過般來專ら其の
編成中なりしが愈々茲明三日中を以
て全部の終了を告ぐる筈なるが同豫

見る盛況を呈せるあり之れが爲
道より總督府に提出

管理陳長三宅福馬氏は廿四日夜入京

局の和川参事も居つて種々意見
を述べて居た、その一端を茲に
繁榮が奉天に移り大連

同李烟之、吳佩孚を三等男爵に封じ
た云ふ。此の向きでは戦後支那に
は何れ丈の華族様が出来ぬのか鳥

方面の關係によつて定めらるゝ
 るが、要するに速くて廉くて
 やうだが、併し運賃が
 のなら、損をしてき

人には多いから之れは大分士氣を鼓舞する政策にもならうが▲得手して論功行賞が不都合だなどく躍鬼組が飛び出す事は受合何うしても北京政

は熟知せられ別に何等の問題も
量高な粗製品は多くは

ては堪つた語ぢやない早く禁酒庫の
宣告でもせねばなるまい▲其れが不
可なら速かに帝政を打ち切るが好い
同に帝政は廢めた、廢めたぢやな

物に依ては朝鮮鐵道線及び滿鐵大連集中主義に復らる

公表して居るのに何んだかお可笑な
處があつたと思つたら二十三日に又
た延期の命令を出して居る▲皆が勸
めるけれどまだ暫くは延期する今後

小局の利害め爲めに
 供することは考へ物
 小局の利害め爲めに
 供することは考へ物

出来ぬぞ▲と親が小供を叱る様を
梅は聊か見えすいて片腹痛い心地
する▲延期は何時迄の延期か暫らく
では矢つ張り分らぬ▲而し此の命令

は隙かれて今日では最も安全確
 路たるは世人の均しく之を
 理に引下げて因業に化

はざるものだから危ない▲イヤ之れ
は他事ではないよ

●本
日
總
督
府
公
文
添
付

少女の友

三月號出來

新作子守唄

三月號
當選

わん／＼コロ／＼濱の石
浪にもまぐれに淡路島
あたしも行きな夢の島
玉よりきれいな白い石
泣きは千鳥が飛んで行く

コロ／＼轉んで何處へ行く
通ふ千鳥の波は五／＼
夢の島にはな／＼夢の島
暈よりきれいな青い石
泣かずに行きましょ夢の島

病氣中の心得として……… 下田校長

態々引返してまで案内す……… 塗師谷教頭

習字の度毎に硯を洗ふ……… 坂本訓導

顔を埋めたまゝ、(露花) 心の十字路 (水原真知)

◎定額給養郵税壹圓(半)
年増刊共七冊(郵税共七拾錢)

東京 實業之日本社
京橋

齒科 辰市 齒科醫院

京城壽町八番地(前尾旅館南樓)

齒科醫學士 長市 捨三郎

